

都市再生整備計画 事後評価シート

砂沼周辺地区

平成30年3月

茨城県下妻市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名			茨城県		市町村名		下妻市		地区名		砂沼周辺地区				面積		130ha			
交付期間			平成24年度～平成28年度		事後評価実施時期		平成29年度		交付対象事業費		1,332		国費率		0.4					
1)事業の実施状況			当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名															
					基幹事業		道路(市道0211号線・2502号線)、地域生活基盤施設(広場:交流広場(仮))、地域生活基盤施設(広場:砂沼エントランス(仮))、高質空間形成施設(緑化施設等:新町、三田地、上町、栗山地内)、高質空間形成施設(緑化施設等:県道下妻停車場線、市道0107号線)、空間形成施設(緑化施設等:市道2502号線)、高次都市施設(地域交流センター:交流広場(仮))、高次都市施設(観光交流センター:砂沼エントランス(仮))													
					提案事業		地域創造支援事業(空き店舗解消)、地域創造支援事業(花のまちづくり)、地域創造支援事業(防犯カメラ設置)、地域創造支援事業(商店街活動支援)、地域創造支援事業(砂沼荘)、事業活用調査(基本設計・事業効果調査)、まちづくり活動推進事業(コミュニティサイクル)													
			当初計画から削除した事業		事業名				削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響							
					基幹事業		高質空間形成施設(緑化施設等:新町、三田地、上町)				事業内容の精査により当初計画から削除				事業の削除により達成目標に影響を与えるが、目標及び指標は据え置く					
			提案事業		事業活用調査(基本設計)				事業内容の精査により当初計画から削除				事業の削除により達成目標に影響を与えるが、目標及び指標は据え置く							
			新たに追加した事業		基幹事業		地域生活基盤施設(広場:三田地ポケットパーク(仮)) 地域生活基盤施設(情報板:情報板)				中心市街地内外の既存ストックの活用及び連携強化の交流の拡大につなげていくため追加				事業の追加により達成目標にプラスの影響はあるが、目標及び指標は据え置く					
提案事業		地域創造支援事業(元気なまちなかづくり事業) 地域創造支援事業(観光交流センター:砂沼エントランス(仮)) 事業活用調査(交流広場(仮)及び砂沼エントランス(仮)具体化検討調査)				にぎわい拠点整備による中心市街地の活性化につなげていくため追加				事業の追加により達成目標にプラスの影響はあるが、目標及び指標は据え置く										
交付期間の変更			当初		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響				-											
			変更																	
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況			指 標			従前値		目標値		数 値		目標		1年以内の達成見込み		効果発現要因(総合所見)		フォローアップ 予定時期		
					単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度										
			指標1		イベント集客人数	人/年	37,000	H24年度	41,500	H28年度		39,000		あり	なし	●			平成31年4月	
			指標2		駅からの歩行者数	人/日	325	H24年度	380	H29年度		440	○	あり	なし					
			指標3		公共施設利用者数	人/年	205,933	H23年度	222,000	H28年度		193,885		あり	なし	●			平成30年4月	
			指標4											あり	なし					
			指標5											あり	なし					
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況			指 標			従前値		目標値		数 値		目標		1年以内の達成見込み		効果発現要因(総合所見)		フォローアップ 予定時期		
					単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度										
			その他の数値指標1		砂沼エントランス(仮称)利用者数	人/年	-	-		154,200							平成30年4月			
			その他の数値指標2		交流広場(仮称)利用者数	人/年	-	-		68,600							平成30年4月			
その他の数値指標3																				
4)定性的な効果発現状況			交流広場(Waiwaiドームしもつま)や砂沼エントランス(さん歩の駅)の2つの拠点、コミュニティサイクル(しもんチャリ)、県道や市道のカラー歩行化などの整備を行い、市民から来訪者の誰もが気軽に利用できる環境(施設利用や休憩等)が整備されたとともに、拠点に繋がる歩行空間や施設間の移動環境が改善されたことにより、地域全体としての魅力の向上につながっている。 また、2つの拠点となる交流広場(Waiwaiドームしもつま)や砂沼エントランス(さん歩の駅)での様々なイベントの開催のほか、砂沼エントランス(さん歩の駅)への物産館やカフェなどの出店により、賑わいの場ともなっている。																	
5)実施過程の評価			実施内容																	
			モニタリング		指標における目標値の見直し				実施状況				今後の対応方針等							
					都市再生整備計画に記載し、実施できた															
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				●											
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった															
			住民参加プロセス		まちづくりワークショップ(全体ワークショップ) まちづくりワークショップ(花壇整備ワークショップ) スケートボードパークワークショップ 子育てハウスワークショップ				都市再生整備計画に記載し、実施できた				●				全体ワークショップの参加者が中心となって設立されたまちづくり市民グループ「しもつま3高」「shi♡shimai」等の支援・協力を行っていく。 花壇の維持・管理を行っている団体の活動への支援・協力を行っていく。 施設整備を合わせて設立された「下妻市スケードボード組織設立準備委員会」の活動への支援・協力を行っていく。 施設の利用についてのアンケートやヒアリング等を行い、利用者の意見等を把握しながら改善を図っていく。			
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								●							
都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった																				
持続的なまちづくり体制の構築		市民活動グループ「しもつま3高」の設立 女性有志ユニット「sh♡ishimai」の設立				都市再生整備計画に記載し、実施できた				●				今後も継続して、まちづくり市民グループ「しもつま3高」を中心に施設・運営を進めていくほか、交流広場(Waiwaiドームしもつま)などを活用したイベントの開催などを進めていく。 継続的な活動を促進していくとともに、活動への支援・協力を行っていく。						

様式2-2 地区の概要

[illegible]